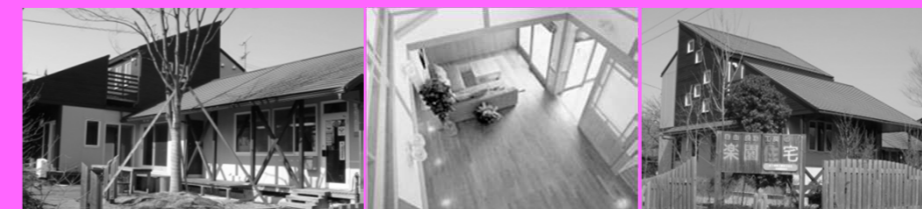


あけまして
おめでとう
ございます

新年 明けましておめでとうございます
楽園住宅では、今年も皆様に安全・安心で快適な暮らしと
人と地球環境に優しい住まい造りへの一層の努力をして参ります。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



九州にて

私の自然探訪は
取材費用が出ません…
ですから
会社の研修旅行に
行った時の資料を
使用します

自然探訪



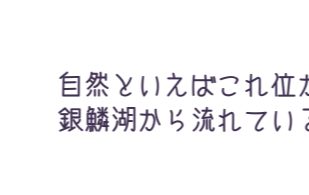
湯布院の中にある建物です
『亀の井別荘』
とありますが
なんなんでしょう



ここは喫茶店でした
時間がなくて入れませんでした



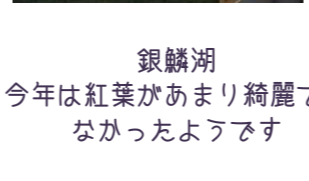
食堂ですね
ここも昼食は他で予約が
してありましたのでパス



自然といえはこれ位かな
銀鱗湖から流れている川



尚、ここでの高い山
(湯布院山?)
は雪化粧でした
ここ九州だよね?



銀鱗湖
今年は紅葉があまり綺麗では
なかったようです

入口付近はお土産屋さんやファーストフードの
お店でござった返していました
(自然探訪には不向きですの風景はカットです)

ZETHモデルハウス



楽園住宅事務所・モデルハウス案内図

—ZETH(ゼツ)
モデルハウスのご案内—
ぎふ性能表示材・ぎふ証明材を
使った、高断熱技術と伝統的な
土塗壁のハイブリット住宅です。

【開館時間】
10:00~17:00
※臨時休館の場合もあります
冬の土壁の蓄熱効果を
ぜひご体感ください

豆知識

住宅の断熱性能を高めることは、冬場省エネで暖かい室内
環境をつくり、ヒートショックのリスクを軽減する役割を持ち
ます。暖房された暖かいお部屋から、暖房のない寒いトイレ
や脱衣室で服を脱ぎ、お風呂に入る場合、室内の温度変化
によりヒートショックを起こす原因にも
なりかねません。
寒いトイレや脱衣室には、事前に暖房
を入れるなどの対策をしましょう。



ヒントは…
住宅でもたまに
見かけます!

楽園クイズ

答えは楽園住宅ホームページをご覧ください



楽園住宅

検索

起り屋根



今年も社員一丸となり、様々なことに挑戦し続けます。
そのノウハウを住まい造りに活かし快適な住空間をお届けします。



金子一弘の世界見聞録 第28巻

ドイツの旅 その10

木造8階建ての実験住宅

敷地には他に、木造8階建ての事務所を兼ねた住居が建てられている。この建物は2方向避難の考え方で階段室をRCとし、消防車のはしごが届く23mの高さで階数が決められている。また、階段室から各階の部屋へは、一度外部へ出てから両側の区画の部屋へ入る動線になっている。構造にはマッシュホルツ (CLT ※1) が使われている。

この建物は耐火90分が求められる為、内装には繊維強化石膏ボードが使用されている。コンセントボックス等の防火・気密性能も施工上重要な部分で、細部まで厳しい施工が求められている。また、防音にも配慮され、厚み250mmのCLTの構造床材の上に配管スペースと断熱材、吸音材、仕上げ材の順で施工され、階間は500mmの厚みとなっている。現在、8階建ての6層の工事が完了し、残る2層分の工事が進められている。ここで使用されているマッシュホルツ (CLT) は、アルピン・フーバー社製を使用し、壁の構造はドイツで一般的に採用されている60mm×120mm (ドイツ規格の2"×4" サイズ) 材で、気密層は外周の透湿抵抗が低い木質系面材で取っている。CLT (250mm厚) の構造床の上に、100mmが配線スペースを取る為の根太、その上に面材と吸音用の木質繊維板を引き、木材の仕上げ (フローリング) 材を張っている。ドイツでは、この程度の建物でスプリンクラーを採用していない。誤作動や小火で作動した場合の建物被害が甚大な為、防火構造を優先し煙感知器や熱感知器の設置による防火対策をとっている。



↑6階のフロアーがB&O社の社長室に使われている↑

※1 Cross Laminated Timber 【クロス(交差)・ラミネイテッド(張り合わせる)・ティンバー(木材)】の略で、板の層を各層で互いに直交するように積層接着した厚型パネルのこと。

低層木造3階建て賃貸住宅



これら一連の建物は環境負荷が小さな木材、又は木質系の建築資材を採用している。既に建物自体はエネルギー収支ではネット・ゼロ・エミッションになっているが、建設時の環境負荷を考慮すると木材や木質系資材が環境負荷を小さくできる為、可能な限り木材、木質系資材を使用している。ドイツでは最近、建物運用時と同じように建設時における環境負荷を考慮するようになっており、LCA (Life Cycle Assessment 製品のライフサイクルが環境に及ぼす影響評価) を考慮した建物の建て方に注目する社会の風潮が育っている。

この低層賃貸住宅は、良質な住居をローコストで供給する為の試験的なプロジェクトで、賃貸住宅としてのモニタリングに利用する目的がある。3階建てで40㎡の3層120㎡が各戸の床面積で、ドイツの地方では一般的な住居としては少し狭い建物になる。それでも、夫婦、子供用の寝室にはバスルーム、シャワールームがそれぞれに設けられている。この住宅の建設コストは、1,600€/㎡ (192,000円) で1戸約23,000,000円になる。

ドイツの旅
まだまだ続きます
お楽しみに!



楽園住宅情報コーナー

-第1回- ウッドデザイン賞2015 奨励賞 受賞

昨年創設されたウッドデザイン賞は、木材利用促進につながる全てのモノ・コトを対象に暮らしを豊かにする、人を健やかにする、社会を豊かにするという3つの消費者視点から木の良さ、価値感を再発見させる製品や取組について、特に優れたものを表彰する新しい顕彰制度です。これによって「木のある豊かな暮らし」が普及発展し、国産材の積極的な使用が進むことを目的としています。

ウッドデザイン賞は、「ライフスタイル部門」、「ハートフルデザイン部門」、「ソーシャルデザイン部門」と3つの部門が設けられ、楽園住宅は木を使って地域や社会を活性化しているものが対象となる、「ソーシャルデザイン部門」の奨励賞を受賞致しました。



元祖 土塗壁高断熱高気密住宅
ZETHモデルハウス冬の体感見学会 を行いました!
 (ゼロエネルギー木造住宅)
 曇り空の寒い中、多くの皆様にご来場頂き、ありがとうございました!

